

平成24年度

岡山県立博物館協議会

第2回 開催要項

日 時：平成25年3月8日(金) 14:30～16:00

会 場：岡山県立博物館 「講堂」

1 開会

2 議題

(1) 平成24年度事業について

- ア 展覧会
- イ 教育普及事業
- ウ 入館状況

(2) 平成25年度事業(案)について

- ア 展覧会
- イ 新規事業
- ウ 予算

(3) 長期展覧会計画(案)について

(4) サービス向上への取組について

(5) その他

3 閉会

平成24年度事業

ア 年間展示計画の概要

平成25年2月現在

	第1室 (考古)	第2室 (古代・中世)	第3室 (近世・民俗)	第4室 (備前焼・刀剣)
(3/27)～4/22 春季展(2) 22日	古代吉備の世界－考古資料－ 古瓦の美	屏風絵の名品 江戸時代の学校(備中・美作) 海中の古備前～壺の美～	ひな人形 《特別陳列》 「茶席のたたずまい」	よみがえった備前刀 幕末・明治の超絶技巧 備前焼 壺と播鉢・壺
4/26～6/3 企画展 春季展(3) 39日	古代吉備の世界－考古資料－ 岡山の鏡	神と仏 武将の文書 海中の古備前～壺の美～	《企画展》 「戦国サムライアート 変わり兜」	備前焼 壺と播鉢・壺 茶陶の美 日本刀名品選
6/7～7/1 夏季展(1) 25日	古代吉備の世界－考古資料－ 岡山の鏡	岡山の仏像～仏教入門～ 《特別陳列》 「井原市高山寺の仏像」 中世寺院文書～安養寺、宝福寺～	はこぶーふねー 《特別陳列》 県立図書館購入資料紹介	備前焼 細工物の世界 茶陶の美 日本刀名品選
7/3～7/29 夏季展(2) 27日	古代吉備の世界－考古資料－ 《特別陳列》 大地からの便り2012 －県内の発掘調査報告展－	岡山の仏像～仏教入門～ 《特別陳列》 「井原市高山寺の仏像」 中世寺院文書～金山寺、豊樂寺～	はこぶーふねー 岡山藩主と城下町	備前焼 細工物の世界 茶陶の美 備前・備中・備後の刀剣
8/3～8/26 特別展(1) 24日	《特別展》 「昭和モノ語り 一人々のくらしと岡山ー」			
8/28～9/17 特別展(1) 21日	《特別展》 「昭和モノ語り 一人々のくらしと岡山ー」			
9/22～10/14 秋季展(1) 20日	古代吉備の世界－考古資料－	岡山の仏画～涅槃図を中心に～ 戦国大名宇喜多氏 木簡	《特別陳列》 「備中神楽面－上田春山」 後楽園花交の池木樋管 岡山藩主の書画等	備前焼名品選 神に捧げられた刀剣
10/19～11/25 特別展(2) 秋季展(2) 38日	《特別展》 「邪馬台国の時代 －吉野ヶ里から唐古・鍵、纏向までー」		《特別陳列》 「備中神楽面－上田春山」 岡山藩主の書画 津田永忠の事績 後楽園花交の池木樋管	備前焼名品選 神に捧げられた刀剣
11/30～12/24 冬季展(1) 25日	古代吉備の世界－考古資料－	中世の寺社と信仰 荘園の発達 中世の流通 岡山の戦国時代	相撲 近世の絵画～岡山の文人たち～ 《特別陳列》 おかやま人物辞典「広瀬台山」	備前焼名品選 茶陶の美 備前・備中・備後の刀剣
1/5～2/11 交流展 冬季展(2) 38日	古代吉備の世界－考古資料－	《交流展》 岡山・高知文化交流事業 「坂本龍馬と幕末の土佐」	相撲 観音信仰 青佐山砲車(2階ホール)	備前焼名品選 茶陶の美 《特別陳列》 幕末維新の名刀
2/15～3/24 春季展(1) 38日	古代吉備の世界－考古資料－	平安時代の仏像 中世の寺社と信仰 中世の役所と古文書 吉備津彦神社の古文書	《特別陳列》ひな人形 近世岡山の書 青佐山砲車(2階ホール)	備前焼名品選 茶陶の美 《特別陳列》 幕末維新の名刀
3/26～ 春季展(2) 4日	古代吉備の世界－考古資料－	平安時代の仏像 中世の寺社と信仰 中世の役所と古文書 吉備津彦神社の古文書	《特別陳列》 ひな人形 近世の絵画～咲き誇る花の絵～ 青佐山砲車(2階ホール)	備前焼名品選 茶陶の美 よみがえった備前刀



ダンボールでマイ甲冑をつくろう



今日は、昭和のくらし体験日
紙芝居屋さんやってくる

特別展・企画展自己評価シート

展覧会名 (企)「戦国サムライアート 変わり兜」						開催期間	平成24年4月26日～6月3日			
入館者等	目標(A)	8,000	実績(B)	8,676	達成率(B/A)	109%	収入予算額	ー	実績	1,062千円
	一般	5,588 (64%)	65歳以上	1,272 (15%)	その他	1,816 (21%)	支出予算額	ー	実績(見込)	1,370千円
展示の趣旨・目的 ・戦国武将ブームにより、甲冑への関心が高まっていることなどから、「変わり兜」と呼ばれる奇抜なデザインの兜を中心に武士の美意識を紹介する。										
入館者アンケート								満足度	89%	
<肯定的> ・テーマが非常に良い。とてもおもしろい企画で感心した。 ・解説が分かりやすかった。 ・体験型の展示物など子どもと一緒に楽しめた。 ・兜の種類が多さが期待以上だった。										
<否定的> ・模造品と実物が分かりにくかった。 ・パンフレットがあればうれしかった。 ・説明が足りない。										
自己評価					工夫・改善点					
①資料調査 ほぼ予定通り行えたが、時間的な制約から個人所蔵品については資料調査が十分できなかった。					調査計画の十分な検討と予算・人員・期間の確保					
②展示 展示計画を十分に検討し、ほぼ予定通り実施できた。ただし、現状の展示施設では対応できない部分もあった。					展示計画の十分な検討と展示施設・設備の改善					
③関連行事 内容を十分に検討し、展覧会との相乗効果を図った。また、事前準備についても計画的に行った。					事前準備の効率化と予算確保					
④広報 広報計画を十分に検討し、予想以上の集客があった。ただし、予算的制限で実施できない部分もあった。					関係機関への広報強化と予算確保					
【その他】 ■報道関係 新聞への掲載回数 16件 ◇指定管理者(日本管財(株))との協同によるイベントの実施(「友の会」ボランティアの協力)										

展覧会名 (特)「昭和モノ語りー人々のくらしと岡山ー」						開催期間	平成24年8月3日～9月17日			
入館者等	目標(A)	10,000	実績(B)	10,877	達成率(B/A)	109%	収入予算額	2,470千円	実績	3,615千円
	一般	7,410 (68%)	65歳以上	1,972 (18%)	その他	1,495 (14%)	支出予算額	4,720千円	実績(見込)	3,409千円
展示の趣旨・目的 ・戦前戦中と戦後で大きく変化した私たちの生活を、衣食住、産業、子どもに関するモノで振り返るとともに、岡山の出来事や岡山に関するテーマで紹介する。										
入館者アンケート								満足度	84%	
<肯定的> ・昭和を生きた者にとって、自分の道を振り返ることができた。 ・よく残っていたものだと感心。素晴らしい展示です。 ・昭和の良さを再認識し、大切なもの・心は受け継がなくてはならない。 ・子どもには新鮮であり、勉強になった。										
<否定的> ・入館料(650円)の割には内容が乏しい。 ・テーマがまとまっていないように感じた。 ・懐かしく拝見したが、立ち止まって考えるという場面が少なかった。 ・順路が分かりにくい。										
自己評価					工夫・改善点					
①資料調査 数年前から調査を進めていたので大きな問題はなかった。					調査計画を十分検討する。補助資料としての写真等の調査に早めに取りかかれればなおよかった。					
②展示 可能な限り露出展示を行ったことで資料を身近に感じてもらえることができた。資料の隣とロビーで映像資料を放映したことで、より展示への理解の深化が図られた。					露出展示は看視員から死角にならない位置を考えて行う。映像放映は効果が高いので、展示室でも積極的に活用していきたい。					
③関連行事 体験行事に音声資料(レコード)体験や公演(紙芝居屋)をおりませ、また会場には入らない自動車を入口前に展示するなど多様な展示理解の方法をとり、多くの人に楽しんでもらった。通常の講演会とは違う形式で行った当時のニュース映像を放映しながらの取材記者によるトークも好評を得た。					子ども向け解説は、会期の早い時期に行ったので事前の広報が行き届かなかったのか参加者が少なかった。日程や広報の仕方を工夫する。					
④広報 博福連携事業で関わった施設に案内し、結果高齢者福祉施設にはロコミで広がり、かなりの集客があった。					展覧会開催を知らない県民も多くいるので、テレビ・ラジオなどでの効率的な広報を検討したい。					
【その他】 ■報道関係 新聞への掲載回数38件 ◇映像記録資料の活用										

特別展・企画展自己評価シート

展覧会名		(特)「邪馬台国の時代 —吉野ヶ里から唐古・鍵、纏向まで—」					開催期間	平成24年10月19日～11月25日		
入館者等	目標(A)	8,000	実績(B)	8,360	達成率(B/A)	105%	収入予算額	1,762千円	実績	1,541千円
	一般	4,946 (59%)	65歳以上	1,896 (23%)	その他	1,518 (18%)	支出予算額	3,624千円	実績(見込)	3,086千円
展示の趣旨・目的										
・邪馬台国に関わる北部九州と大和の遺跡を紹介しながら、吉備の弥生文化の特色に目を向け、邪馬台国の時代とその中での吉備の位置付けに迫る。										
入館者アンケート								満足度	87%	
<肯定的> ・かつてなかったレベルの高い展示内容。 ・地方では見られない感動的な展示会だった。 ・全体的に良いので、具体的に上げるのは・・・どれも素晴らしかった。										
<否定的> ・展示物に模造品が多く、質・量ともに今ひとつでした。 ・山陰とのつながりも是非展示して欲しかった。 ・子どもにも分かる説明表示をして欲しい。 ・図録の売り切れが多い。										
自己評価					工夫・改善点					
①資料調査 早期準備と依頼により、借用希望資料の大部分の承諾が得られた。担当3名で分担し、多くの機関・研究者の協力を得て行うことができた。					早期での事前準備の必要。					
②展示 趣旨・目的を十分に検討し、予定通りの展示ができた。					展示施設と展示・証明設備の改善。					
③関連行事 期間中、毎週にわたって特別講座・記念講演会・ワークショップ、更に展示解説を行い多くの入館者を得た。					会場や映像・音声機器等事前確認、および設備の改善。					
④広報 通常の広報以外にも、多くの公的機関・個人にポスターの掲示、チラシの回覧等を依頼し、周知を図った。					報道機関への働きかけ。ポスター・チラシの有効な配布。					
【その他】					■報道関係 新聞への掲載回数 26件 ・図録500冊が完売 (通常400冊作成)					

展覧会名		岡山・高知交流事業「坂本龍馬と幕末の土佐」					開催期間	平成25年1月5日～2月11日		
入館者等	目標(A)	8,000	実績(B)	9,655	達成率(B/A)	121%	収入予算額	705千円	実績	1,290千円
	一般	6,263	65歳以上	1,783	その他	1,609	支出予算額	3,359千円	実績(見込)	2,006千円
展示の趣旨・目的										
・幕末の志士坂本龍馬の人物像と尊王攘夷から大政奉還、明治維新へ至る幕末の土佐藩の動きや、当時の岡山で坂本龍馬と関わりのあった人物等を紹介する。										
入館者アンケート								満足度	84%	
<肯定的> ・龍馬の人脈の深さ、緊迫した情勢や当時の人たちの偉大さを再認識した。 ・学芸員やボランティアの展示解説が分かりやすかった。										
<否定的> ・時の流れが分かりやすい展示をして欲しい。 ・映像や音声が欲しかった。 ・ふりがなを付けるなど、もう少し子どもに分かりやすくして欲しい。										
自己評価					工夫・改善点					
①資料調査 借用先が県外で、特に離れた場所にある館もあり、十分な資料調査ができなかった。					事前準備をしっかり行い、効率的な資料調査の実施を心掛ける。					
②展示 龍馬の手紙に現代語訳をつけた点はよかった。章間の繋ぎとなる説明がやや不足していた。					歴史資料の展示は、複雑になりがちなので、シンプルで分かり易い組み立てを心掛ける。					
③関連行事 記念講演会では、2階会場を設置したのはよかった。当日、映像が途切れるなどの問題があった。					映像機器等のリハーサルを実施する。					
④広報 マスコミ各社に開会前から取りあげられた。ポスターを配りきれなかった。					配付用資料セットをできるだけ多く準備する。					
【その他】					■報道関係 新聞への掲載回数 36件					

イ 教育普及事業

(H24は、2月15日現在)

事業名	実績		備考
	H24	H23	
①館内授業・出前授業・探検ツアー			
館内授業	50校、2,413人	48校、2,027人	
出前授業	19校、1,511人	26校、1,795人	
探検ツアー	3校、195人	3校、256人	
②よろいと小袖を着てみよう！	33人	30人	
③吉備の国ジュニア歴史スクール	98人	147人	3コース → 2コース
④博物館講座	スタンダード 110人 スペシャル 77人	スタンダード 135人 スペシャル 125人	
⑤博福連携事業 いきいき講座	2施設 (館内20人、出前50人)	2施設 (館内16人、出前36人)	H23 高校生ボランティア14人 " 大学生ボランティア 3人 H24 高校生ボランティア13人
⑥博物館実習	1回、10人	1回、13人	
⑦中学生職場体験	7校、20人	3校、9人	

<活動の様子>

館内授業



吉備の国ジュニア歴史スクール



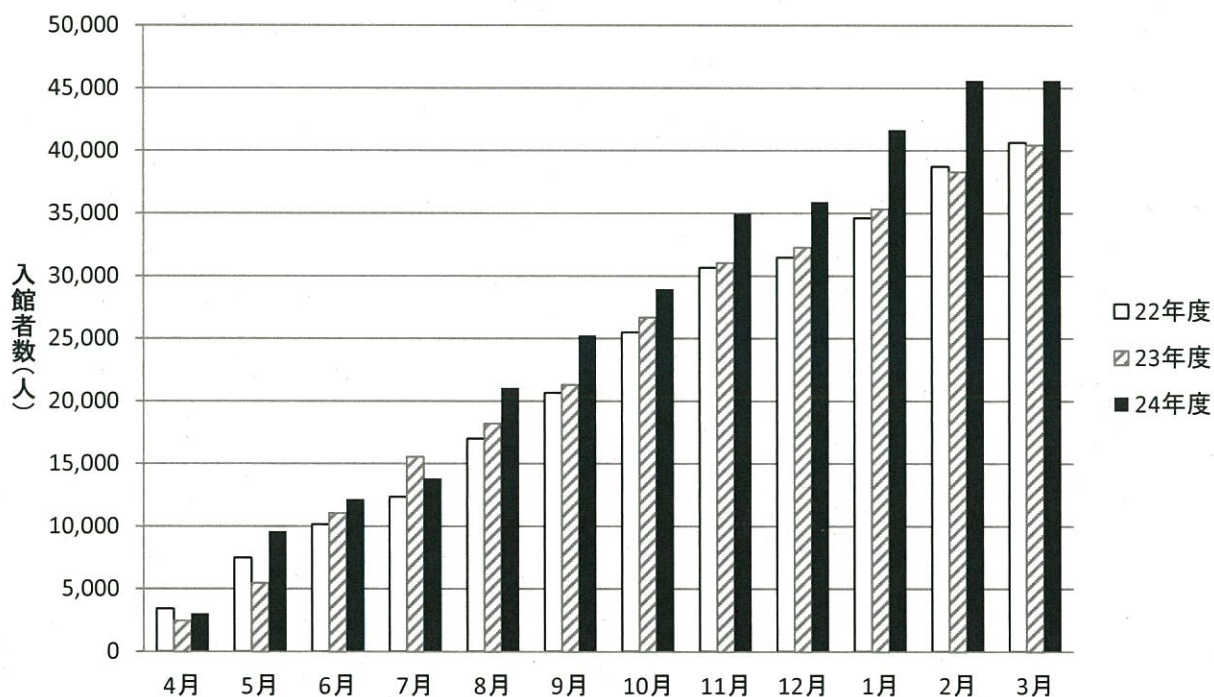
ウ 入館状況

月別入館者数

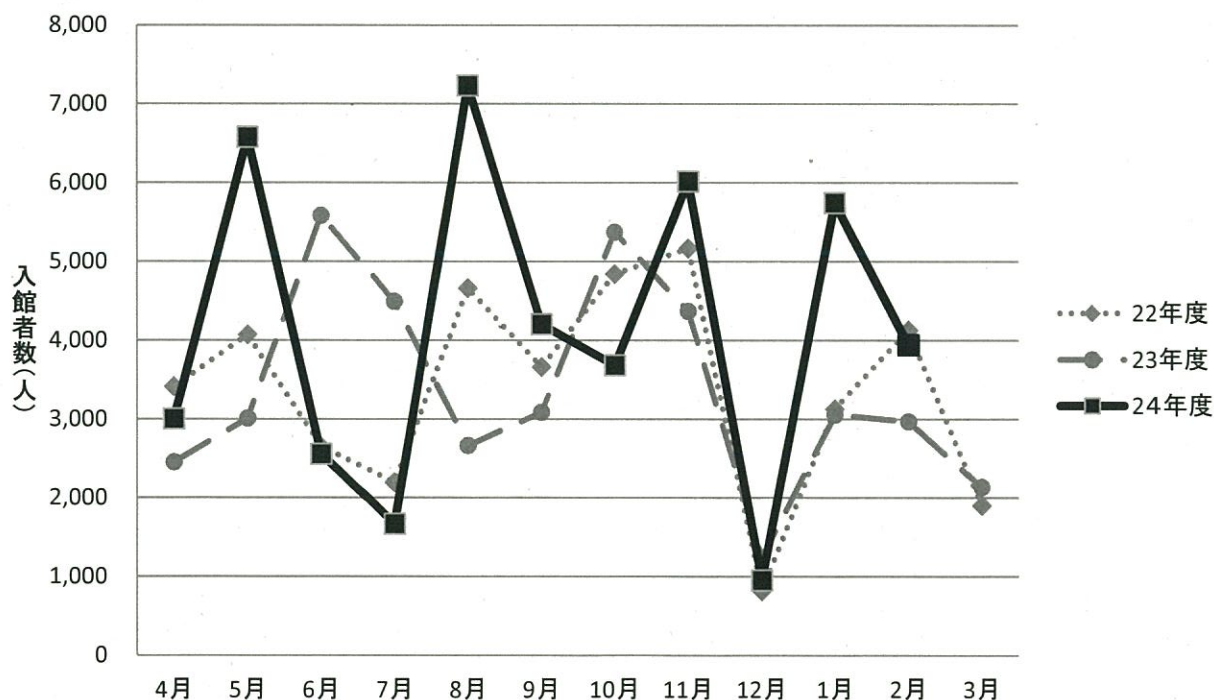
(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	1月末現在
22年度	3,413	4,074	2,651	2,196	4,661	3,661	4,840	5,166	821	3,131	4,130	1,906	40,650	34,614
23年度	2,455	3,011	5,584	4,496	2,664	3,090	5,373	4,371	1,241	3,057	2,971	2,137	40,450	35,342
24年度	3,005	6,577	2,555	1,671	7,234	4,203	3,684	6,018	955	5,746	3,941		45,589	41,648

年度別 累計入館者数



年度別 月別入館者数

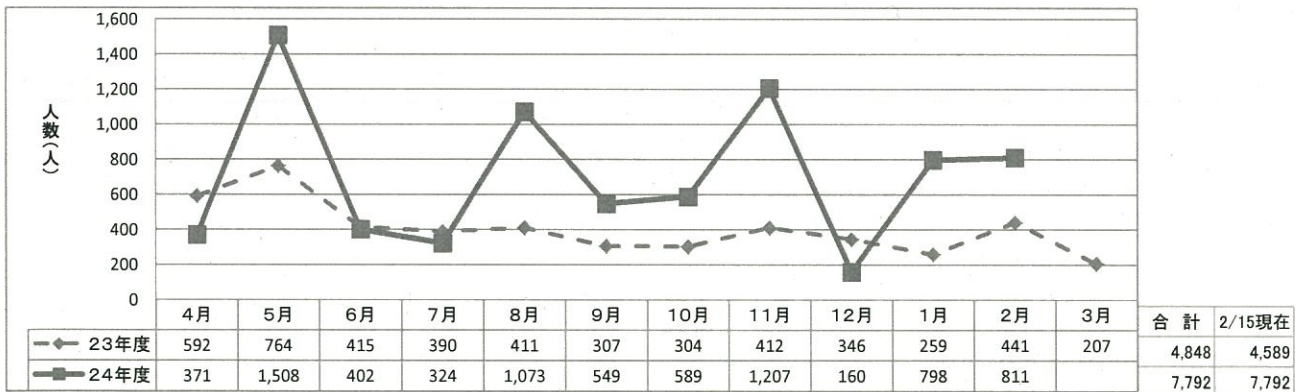


展覧会別入館者

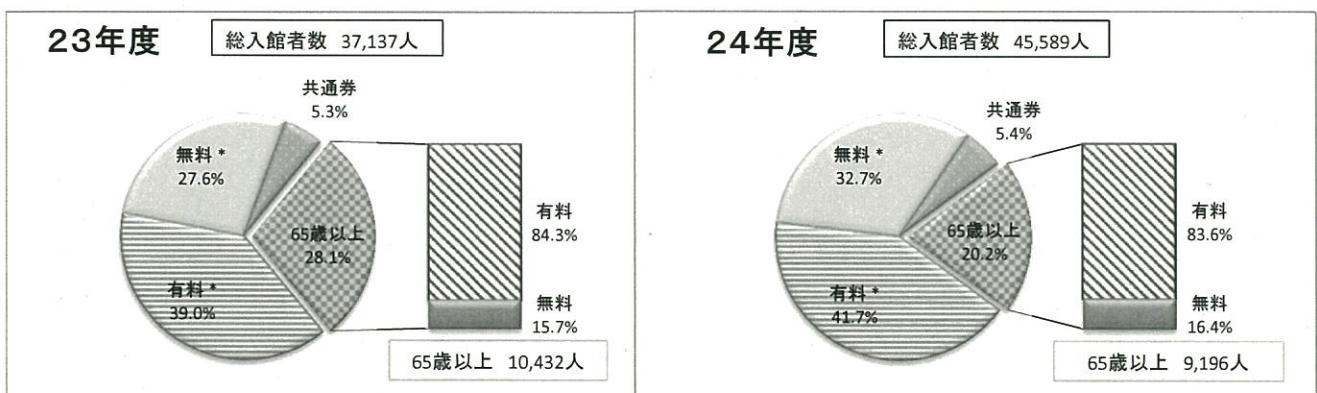
平成25年2月15日現在

展覧会名		目標に対する実績		達成率	入館者の割合		
					一般	65歳以上	高校生以下
企画展	変わり兜	目標	8,000人	108.5%	64.4%	14.7%	20.9%
		実績	8,676人				
特別展	昭和モノ語り	目標	10,000人	108.8%	68.1%	18.1%	13.8%
		実績	10,877人				
	邪馬台国	目標	8,000人	104.5%	59.2%	22.7%	18.1%
		実績	8,360人				
交流展	坂本龍馬と幕末の土佐	目標	8,000人	120.7%	64.9%	18.4%	16.7%
実績	9,655人						
平常展		目標	14,000人	57.3%	54.8%	28.3%	16.9%
		実績	8,021人				
計		目標	48,000人	95.0%	62.7%	20.2%	17.1%
		実績	45,589人				

高校生以下の入館状況



入館者別割合《各年度とも2月15日現在で比較》



注：有料* 無料* は、65歳以外の入館者をいう。

平成25年度事業計画〈案〉

1 年間展示計画の概要

	第1室 (考古)	第2室 (古代・中世)	第3室 (近世・民俗)	第4室 (備前焼・刀剣)
(3/26)～4/14 春季展(2) 14日	古代吉備の世界 分銅形土製品	平安時代の仏像 中世の寺社と信仰 中世の役所と古文書 吉備津彦神社の古文書	☆《特別陳列》ひな人形 近世の絵画 ～咲き誇る花の絵～ 青佐山砲車(2階ホール)	よみがえった備前刀 備前焼 茶陶の名品
4/19～5/19 特別展(1) 春季展(3) 31日	栄西禅師800回忌記念 栄西		五月人形 後楽園の名品	よみがえった備前刀 備前焼 茶陶の名品
5/24～6/23 夏季展(1) 31日	古代吉備の世界 陶質土器と初期須恵器	岡山の仏教美術 岡山の戦国時代 ～備中高松城の水攻め～ 中世の商品流通 木簡	☆《特別陳列》 万代家資料 ー近代医療ー 岡山藩主と岡山城	日本刀名品選 備前焼 壺と播鉢・甕
6/25～7/21 夏季展(2) 27日	古代吉備の世界 陶質土器と初期須恵器	岡山の仏教美術 岡山の戦国時代 ～毛利氏～ 海中の古備前	☆《特別陳列》 万代家資料 ー近代医療ー 岡山藩主と岡山城	日本刀名品選 備前焼 壺と播鉢・甕
7/25～9/1 企画展 夏季展(3) 39日	古代吉備の世界 美作の原始古代	美作国建国1300年記念 美作の名宝	子育ての道具 岡山の四条派画壇 江戸時代の絵画	備前・備中・美作の刀剣 備前焼の名品
9/5～10/6 秋季展(1) 32日	古代吉備の世界 ☆《特別陳列》 大地からのたより2013 ー県内の発掘調査報告展	岡山の仏像 岡山の宗教家 ～法然～ 岡山の戦国時代 ～浦上氏～	子育ての道具 江戸時代の仏像	備前・備中・美作の刀剣 備前焼の名品
10/11～11/17 特別展(2) 38日	郷原漆器復興25周年・備中漆復興20周年記念事業 瀬戸内国際芸術祭2013関連事業 j a p a n - 漆の世界 -			
11/22～12/23 冬季展(1) 28日	古代吉備の世界 古代～中世の硯	岡山の仏像 中世商品流通の拡大 海中の古備前	絵馬 大名の書画 ☆《特別陳列》 おかやま人物辞典 平賀元義	神に捧げられた刀剣 備前焼の名品
1/1～2/16 交流展 冬季展(2) 41日	古代吉備の世界 古代～中世の硯	岡山の仏像 古文書から見る 南北朝時代の岡山 海中の古備前	岡山・高知文化交流事業 土佐の水とくらし ー四万十川の漁を中心にー	☆《特別陳列》国宝 赤韋威鎧と太刀 無銘一文字「山鳥毛」(1/1～1/19) 茶陶の美 神に捧げられた刀剣 備前焼 細工物の世界
2/20～3/23 春季展(1) 28日	古代吉備の世界 吉備の鏡	岡山の仏像 岡山の古刹(備前) 海中の古備前 播鉢と壺	ひな人形 旅と巡礼	岡山の新刀・新々刀 ☆特別陳列 備前焼と岡山の焼き物
3/25～ 春季展(2) 7日	古代吉備の世界 吉備の鏡	岡山の仏像 岡山の古刹(備中・美作) 海中の古備前 播鉢と壺	ひな人形 幕末岡山の美術 勤皇の志士と岡山	岡山の新刀・新々刀 ☆特別陳列 備前焼と岡山の焼き物

平成25年度事業計画<案>

ア 展覧会

事業名	栄西禅師800回忌記念 特別展 「 栄 西 」
期 間	平成25年4月19日(金)～5月19日(日)
趣 旨	臨濟宗の開祖栄西は、平安時代末に岡山で生まれた。平成26年は、栄西800回忌にあたることから、生地である岡山との関わりや思想の遍歴、栄西をとりまく時代背景について紹介する。 ※山陽新聞社主催「栄西大茶会」の開催(後楽園内)に合わせ、広報活動等連携を図る。
主要展示資料	誓願寺創建縁起《平安時代》<誓願寺蔵>(国宝) 銅造観世音菩薩立像《北宋時代》<大山寺蔵>(重要文化財)
関連行事等	①連続講座「栄西」 5月11日 「栄西と重源」 5月18日 「栄西と中世の禅宗」 ②ワークショップ 5月3日 「親子で学ぶ喫茶養生記」 ③展示解説
備 考	入館料 大人450円、65歳以上220円、高校生100円、小人80円、5歳未満無料(2室使用)

事業名	美作国建国1300年記念 企画展 「美作の名宝」
期 間	平成25年7月25日(木)～9月1日(日)
趣 旨	美作国の分国1300年を記念し、美作地域ゆかりの文化財の優品を公開する。
主要展示資料	絹本著色両界曼荼羅図《南北朝時代》<長福寺蔵>(重要文化財) 太刀銘国行《鎌倉時代》<作楽神社蔵>(重要文化財)
関連行事等	①記念講演会 「美作の歴史と文化」 ②展示解説
備 考	入館料 大人250円、65歳以上120円、高校生以下無料 (1室使用)

事業名	特別展 「 japan—漆の世界—」
期 間	平成25年10月11日(金)～11月17日(日)
趣 旨	原始古代から現代に至る岡山・香川を中心とした漆芸をテーマに、その歴史と文化を紹介する。
主要展示資料	南方遺跡出土木製品《弥生時代》<岡山市教育委員会蔵> <small>あやすぎじししぼたんまきえこんれいちょうど</small> 綾杉地獅子牡丹蒔絵婚礼調度《江戸時代》<林原美術館蔵>(重要文化財) 郷原漆器の製作用具《近現代》<真庭市蔵>(登録有形民俗文化財)
関連行事等	①記念講演会 ②漆芸作家による特別解説 ③木地師による実演 ④親子向け漆芸工作教室 ⑤展示解説 ※岡山県郷土文化財団、備中うるし利活用協議会との共催により実施
備 考	入館料 大人650円、65歳以上320円、高校生200円、小人180円、5歳未満無料 (4室使用)

事業名	交流展 岡山・高知文化交流事業「土佐の水とくらし ー四万十川の漁を中心にー」
期間	平成26年1月1日(水・祝)～2月16日(日)
趣旨	高知・岡山の両県に伝わる考古・歴史・民俗・美術等の文化財を貸借・展示し、歴史や文化を相互に紹介する。2年目は、四万十川の漁労などの民俗文化を中心として紹介する。
主要展示資料	土佐典具帖紙《昭和時代》<いの町紙の博物館蔵>(国指定重要無形文化財) 川舟 《現代》<高知県立歴史民俗資料館蔵> 土佐職人絵歌合《江戸時代》<高知市民図書館蔵>
関連行事等	①記念講演会 「南国土佐の歴史と民俗」 ②紙漉の体験 ③ボランティアによる展示ガイド ④展示解説
備考	入館料 大人250円、65歳以上120円、高校生以下無料(1室使用)

イ **新規事業** 「ジュニア学芸員講座」(仮称) <岡山県教育職員互助組合 助成事業(予定)>

事業目的	・県内の中学生及び高校生が、館内で資料や機器の取り扱い等、学芸員の基礎的な業務を学び体験し、発掘現場でも実地体験をすることなどで、岡山の歴史と文化に関する理解を深めるとともに、将来的に学芸業務を仕事の選択肢としても考える機会を提供する。(3日間連続で開講)
事業内容	◇夏期休業中の3日間、講義・実務・研修を通じ認定証(館長名)を発行する。【20名程度】 8月6日 開講式、マナー学習、博物館学の研修等 <軸物資料の巻き方、刀剣の扱い方等> 8月7日 他館・現地等訪問 <発掘現場での実地体験、他館での資料借用等> 8月8日 展示の企画・立案・演習、機器の取扱い(資料の写真撮影)等、閉校式<認定証>

◇活動の様子「中学生職場体験」



平成 25 年度 予 算 (案)

[県 費]

【 歳 入 】

(単位：千円)

財 源 内 訳	25年度	24年度	増 減	備 考
使用料及び手数料	4,725	4,607	118	入館料、講堂使用料
諸 収 入	380	380	0	博物館講座受講料
一 般 財 源	65,533	70,022	▲ 4,489	
合 計	70,638	75,009	▲ 4,371	

【 歳 出 】

(単位：千円)

項 目 名	25年度	24年度	増 減	備 考
①展覧会事業	15,936	15,145	791	
<内訳>				
・企画展(1回)、平常展	4,938	3,442	1,496	
・特 別 展(2回)	8,080	8,344	▲ 264	
・高知県との交流展	2,918	3,359	▲ 441	
②教育普及事業	1,380	1,880	▲ 500	
<内訳>				
・文化遺産映像記録作成事業	1,000	1,000	0	
・博福連携事業(いきいき講座)		500	▲ 500	事業終了
・博物館講座	380	380	0	
③資料購入費(修繕費)	473	792	▲ 319	
④博物館協議会	324	324	0	
⑤維持管理費	52,525	56,868	▲ 4,343	H24 地下タワ改修
合 計	70,638	75,009	▲ 4,371	

[岡山県教育職員互助組合の助成] <予定>

(単位：千円)

項 目 名	25年度	24年度	増 減	備 考
吉備の国ジュニア歴史スクール	1,225	1,225	0	
ジュニア学芸員講座	300	0	300	新規事業
企画展等関連事業	0	300	▲ 300	
合 計	1,525	1,525	0	

長期展覧会計画〈案〉

年度	企画展		特別展		交流展	交流展(他会場)
	企画展	2室	4室	交流展		
25 2013	美作国建国1300年記念 美作の名宝	栄西 池田綱政300回忌記念 曹源寺の名宝	備中漆復興20周年 瀬戸内国際芸術祭2013協賛事業 japan -漆の世界-	(中四国博物館ネットワーク 構築事業) 土佐の水とくらし -四万十川の漁を中心に-	高知県立歴史民俗資料館 (備前焼)	
26 2014	岡山の山城	足守藩主木下家	備前焼 -日本古窯の美-	(中四国博物館ネットワーク 構築事業) 長宗我部氏と宇喜多氏	(中四国博物館ネットワーク 構築事業) (共同企画・巡回展) 戦国時代 長宗我部氏と宇喜多氏	
27 2015	本蓮寺の歴史と名宝	吉備の古墳	吉備のまつり	(中四国博物館ネットワーク 構築事業) 鳥取の歴史と文化 I 古代伯耆・因幡の世界	鳥取県立博物館 岡山の歴史と文化 I	
28 2016	織りの技と美 -小倉織・綿・絹-	和気安養寺の 歴史と名宝	真金吹く古備 -鉄(くろがね)の美-	(中四国博物館ネットワーク 構築事業) 鳥取の歴史と文化 II 鳥取藩の絵師	鳥取県立博物館 岡山の歴史と文化 II	
29 2017	ほとけのひみつ	岡山の絵馬	吉備の群像	(中四国博物館ネットワーク 構築事業) 共同企画展 鳥取藩と岡山藩	鳥取県立博物館 共同企画展 鳥取藩と岡山藩	

サービス向上への取組について < 前回意見等への対応 >

ア 展示活動	
1 正月の臨時開館	平成26年1月1日(水)～4日(土) ◇高知県との交流展を開催 ◇正月にふさわしい展示内容を工夫 ◇関連イベントを実施予定 ◇後樂園の入園者を誘導
2 映像資料の活用	4月から実施
3 新規の寄託・寄附資料の速やかな展示	
4 子ども向けに分かりやすいキャプションの充実	
イ 学校教育との連携(教育普及事業)	
1 新規事業「ジュニア学芸員講座」の開催	8月に実施
2 初任者研修での館蔵資料を活用した体験授業の実施	
3 市町村新規採用職員研修会での講演	
ウ 広報活動	
1 フェイスブックを活用したホームページを新たに開設	<要検討>
2 映像資料のホームページでの公開	4月から実施
エ その他(アンケート等)	
1 平常展期間中の土・日・祝日の入館者(先着)に「絵はがき」をプレゼントする。	
2 アンケート回答者へのプレゼントは、当面、プレゼント作成経費の捻出が困難なことなどから実施できない。	
3 後樂園幻想庭園期間中の夜間開館は、費用対効果の観点などから実施できない。	

平成24年度 岡山カルチャーゾーン連絡協議会「岡山芸術回廊連携事業」実績

実施主体（実施場所）	事業名等	概要	参加者数
1 岡山県立博物館	特別展「邪馬台国の時代」記念講演会 11/17(土) 13:30～15:00	兵庫県立考古博物館長 石野博信氏による記念講演会 演題「邪馬台国時代の大和と吉備」	200名
2 夢二郷土美術館	夢二郷土美術館コンサート アコーディオンのタベ 11/17(土) 18:00～19:30	夢二に関連した曲をアコーディオンで演奏する音楽会 アコーディオン奏者 水野弘文氏	106名
3 林原美術館	美術講座 林原美術館の精華 11/25(日) 13:30～15:00	林原美術館学芸員による美術講座 池田家伝来の資料、刀剣鑑賞の見所等	30名
4 県立美術館	第59回日本伝統工芸展岡山展記念講演会 11/23(金) 14:00～15:30	文化庁伝統文化課主任文化財調査官 佐々木正直氏による講演 演題「伝統工芸の保護」	60名
5 岡山シンフォニーホール	岡フィル室内楽 名曲の花束コンサート 11/10(土) 14:00～15:30	岡フィルによる室内楽の演奏会 室内楽とソプラノ、フルートソロによる演奏会	150名
6 岡山県立図書館	夢づくりファミリーコンサート 11/4(日) 14:00～15:00	岡山フィルハーモニー管弦楽団の弦楽四重奏によるファミリー向け コンサート	130名
7 岡山県立図書館	世界のバリアフリー絵本展2011 10月30日(火)～11月3日(土)	展示や絵文字、立体的な布絵本などのバリアフリー図書展示 18カ国60点の図書	428名
8 岡山県天神山文化プラザ	天プラ・ホールセレクションvol.1 劇団柿喰う客「傷は浅いぞ」岡山公演 11/16(金) 14時/19時 (2回公演)	劇団柿喰う客「傷は浅いぞ」岡山公演 (2回公演)	245名 (2回公演)
9 ルネスホール	ミュージック・イン・スタイル 岩崎 淑シリーズvol.36 11/8(木) 19:00～	バリトンと室内楽のタベ ピアノ:岩崎淑、バリトン:河野克典、ヴァイオリン:島田真千子 他	150名
10 岡山市民会館	オカヤヤマビックホールブラズ演奏会 11/24(土) 会場:岡山後楽園 東外苑	「ばふおーまんず」のステージで演奏(20名の小編成) [男はつらいよ]をはじめ8曲演奏	50名
11 岡山カルチャーゾーン連絡協議会	岡山カルチャーゾーン芸術回廊記念スタンプラリー2012 11/3～12/2 全12施設対象	Aコース(10カ所以上) 43本/ 77名 参考<H22国文祭 44名> Bコース(6カ所以上) 53本/ 182名 参考<H22国文祭 205名>	

岡山芸術回廊：岡山後楽園を中心としたカルチャーゾーン一帯で、県内外の作家によるアート作品の展示やワークショップ、ダンス、パフォーマンスなどの文化事業を実施
期間 H24.11.3～12/2

岡山県立博物館協議会委員

任期2年（平成25年2月5日～平成27年2月4日）

平成25年2月現在

番 号	氏 名	区 分	現 職
1	小 森 順 子	学校教育関係者	岡山市立石井小学校長
2	市 坡 よし子	"	倉敷市立玉島西中学校長
3	谷 川 真利子	"	岡山県立邑久高等学校長
4	丸 池 宣 子	社会教育関係者	岡山県婦人協議会副会長 〈新任〉
5	門 野 八洲雄	"	岡山県生涯学習センター所長
6	延 江 典 子	"	岡山県青年団協議会副会長 〈新任〉
7	宇 野 均 恵	家庭教育関係者	NPO法人子ども劇場笠岡センター理事長
8	長 江 真理子	"	NPO法人みる・あそぶ・そだつ津山子ども広場代表理事
9	岡 本 隆 明	学識経験者	(株)山方永寿堂代表取締役社長
10	藤 實 久美子	"	ノートルダム清心女子大学文学部現代社会学科准教授
11	松 木 武 彦	"	岡山大学大学院社会文化科学研究科教授 〈新任〉
12	吉 本 正 志 (号)正	"	日本工芸会中国支部副幹事長
13	高 谷 万知子	"	山陽放送(株)編成業務局企画推進部長
14	江 見 肇	"	(株)山陽新聞社編集局文化部長
15	原 田 唯 良	"	岡山県議会議員

博物館法 〈抜粋〉

(博物館協議会)

第20条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第21条 博物館協議会の委員は、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。

第22条 博物館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他博物館協議会に関し必要な事項は、当該博物館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

岡山県立博物館協議会条例

(昭和46年6月25日)
岡山県条例第47号

(設置)

第1条 岡山県立博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関として、岡山県立博物館に岡山県立博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

(委員の任命の基準)

第2条 協議会の委員(以下「委員」という。)は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから、教育委員会が任命する。

(委員の定数)

第3条 委員の定数は、20人以内とする。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(その他)

第5条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、昭和46年7月1日から施行する。

2 (略)

岡山県立博物館協議会運営規則

(昭和46年7月1日)
岡山県教育委員会規則第13号

(趣旨)

第1条 この規則は、岡山県立博物館協議会条例(昭和46年岡山県条例第47号)第5条の規定に基づき、岡山県立博物館協議会(以下「協議会」という。)の運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(議長及び副議長)

第2条 協議会の会議(以下「会議」という。)に、議長及び副議長を置く。

2 議長及び副議長は、岡山県立博物館協議会の委員(以下「委員」という。)の互選により定める。

3 議長及び副議長の任期は、委員としての在任期間とする。

4 議長は、会議を主宰する。議長に事故のあるときは、副議長がその職務を代行する。

(招集)

第3条 会議は、岡山県立博物館長が招集する。

2 会議の招集は、会議開催の場所、日時及び会議に付すべき案件をあらかじめ各委員に通知して行なう。ただし、緊急の場合は、この限りでない。

(定足数及び表決)

第4条 会議は、委員の過半数以上が出席しなければ開くことができない。

2 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(職員の説明及び資料の提出)

第5条 委員は、会議において関係職員に対して、説明又は資料の提出を求めることができる。

(職員の出席)

第6条 関係職員は、会議に出席して意見を述べるることができる。

(その他)

第7条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は協議会が別に定める。

附 則

(施行期日)

この規則は、公布の日から施行する。

職 員 一 覧

教育委員会事務局

職 名	氏 名	備 考
文化財課長	光 永 真 一	

岡山県立博物館職員

職 名	氏 名	備 考
館 長	田 村 啓 介	
副 館 長	島 崎 東	(学芸課長事務取扱)
総 務 課	総 務 課 長	赤 木 康 夫
	主 任	瀧 元 弘 美
	主 任	藤 原 雅 彦
	主 事	清 水 美 緒
学 芸 課	学芸員 (副参事)	鈴 木 力 郎
	学芸員 (主幹)	信 江 啓 子
	主 幹	竹 原 伸 之
	学芸員 (主任)	佐 藤 寛 介
	主 任	國 政 信 弘
	学芸員 (主任)	和 田 剛